

4 園館合同企画

平川動物公園

いおワールドかごしま水族館

くすの木自然館

かごしま環境未来館

環境子ども フォーラム



2026

2.11 水祝

13:00 ~ 16:00

かごしま環境未来館
1Fゾーン3 特設ステージ

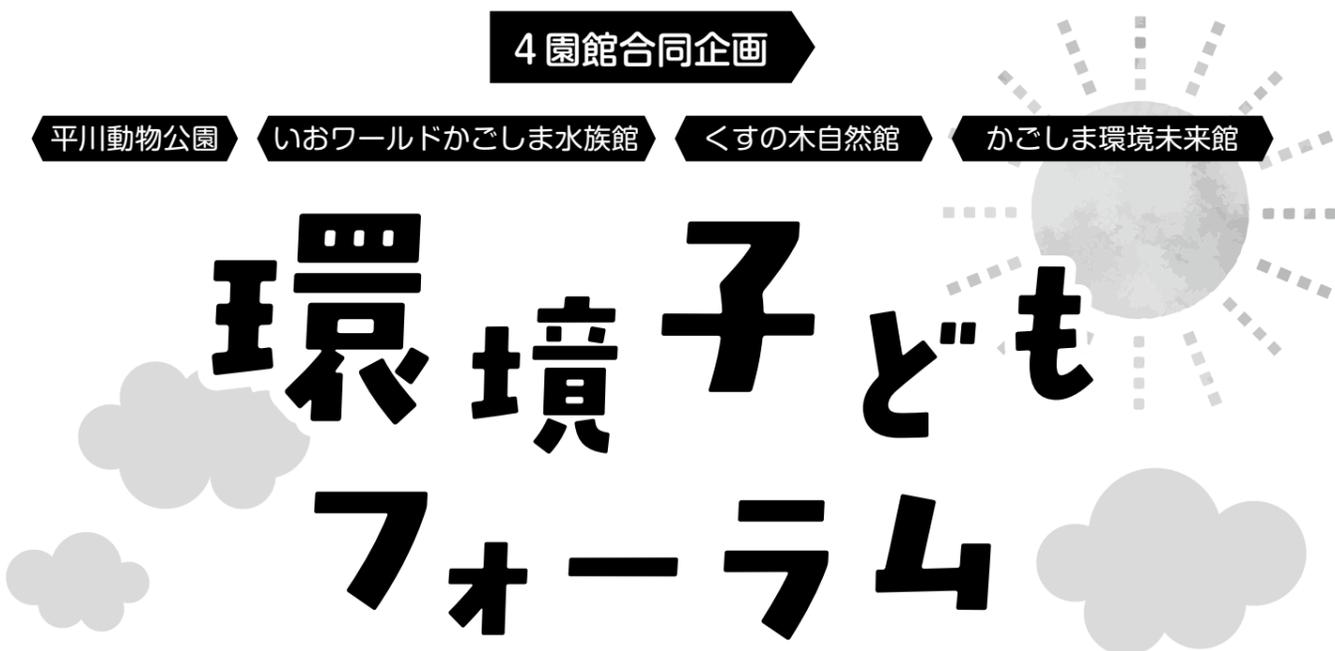
入場無料

申込不要

主催 ▶ かごしま環境未来館

後援 ▶ 鹿児島市教育委員会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



環境子ども フォーラム

趣旨

4園館合同企画 環境子どもフォーラムとは？

次の世代を担う子どもたちが環境問題に関心を持ち、具体的に取り組んだ活動成果を市民に発表する「環境子どもフォーラム」。

NPO法人くすの木自然館、平川動物公園、かごしま水族館と連携し、4園館合同企画として、「空」をテーマにそれぞれの施設で連続講座を開催しました。講座を通して、参加した子どもたちは、環境問題と自分たちの繋がりを学び、環境問題を自分ごととしてとらえ、学んだことをふまえ、「未来を変える行動」について発表してもらいます。

プログラム

- 13:00～ 開会
- 13:05～ これまでの活動報告
- 13:30～ 子どもたちの「未来を変える行動宣言」
- 14:40～ 特別ゲスト KTS鹿児島テレビ 新井 雅則 気象予報士
講演タイトル
「KTS新井気象予報士のおもしろお天気講座」
- 15:45～ 修了式
- 16:00 閉会

第1回 かがしま環境未来館 10月13日(月・祝) 10:00~12:30

場 所: かがしま環境未来館

講座名: 気候が変だよ 生き物たちは大丈夫?

連続講座の第1回目として、気候変動が生き物たちにどのような影響を与えているかを考え、今後の講座へつながる気候変動と生物多様性の関係についての概論的な学びを行いました。

デジタル地球儀を活用し、気候変動の影響が、人間社会にも生き物の世界にも起こっている深刻な現実を学びました。また、ネイチャーゲームを通して楽しく体感的に生物多様性について考え、コミュニケーションを取りながら、気候変動との関連について意見を出し合っていました。

最後に、気象予報士の新井さんが、地球温暖化のメカニズムや気候変動の現状を親しみやすい語り口で、分かりやすくお話してくださいました。閉会後も新井さんに熱心な質問をする子どもたちの姿が印象的でした。



第2回 平川動物公園 11月16日(日) 13:00~15:30

場 所: 平川動物公園内及びどうぶつ学習館

講座名: 動物園で感じる! 動物と季節の関係

動物園で、クジャクが今日は全然羽を広げないなあ。あれ? シカの角が短いぞ!? なんて思ったことはありませんか?? 動物たちの姿や行動は、いつも同じとは限りません。羽や毛、角の生え換わり、そして繁殖行動は「日照時間」が関係しています。日本には季節があるので、寒い冬に向けて毛がモコモコする、子育てに最適な季節に向けて繁殖する、はずだったのですが…。日照時間と季節が、少しずつずれてきていると言われています。モコモコで冬を迎える準備ができたのに、気温がまだ高い、ということが起こっているのです。この回では、何気なく過ごしていた季節を感じる事ができました。動物たちの変化を通して環境の変化を知り、できることから行動していきましょう!



第3回 くすの木自然館 12月7日(日) 9:30~12:30

場 所: 始良市 錦江湾奥湿地

講座名: 野鳥たちはどうして鹿児島に?

錦江湾奥の湿地には、冬になると多くの野鳥がやってきます。今回の講座では、簡単な野鳥の見分けを行えるようになることで、「野鳥のやってくる風景に興味をもつこと」と「野鳥がやってくる意味」を考えました。冬の野鳥は大気の動きによってわたってきます。偏西風や気圧の配置が崩れると野鳥が飛んでこられなくなるかもしれません。また、せっかく飛んできて休める場所、食べるエサがなければ野鳥は弱って死んでしまいます。これからも多くの野鳥を楽しめるために、自分たちにできることを考えました。



第4回 いおワールドかがしま水族館 1月11日(日) 13:15~16:00

場 所: いおワールドかがしま水族館

講座名: 水温計で謎を解け! 海の生きものがそこに暮らすわけ

海を暖めているのは太陽であることを知り、地球で一番暖かい海と冷たい海の場所を学びました。その後、鹿児島海の4エリアの水温を予想し、水族館のバックヤードにでかけて関係する水槽の水温を測り、4エリアの結果を発表しました。そして、動ける生物は適水温を求めて移動し、動けない生物は減衰、消失することを理解しました。さらには、天気と海は深い関係があることを知りました。最後に、見ようとしないと気がつかないので「海に関心を持ち、変化に気がつける人」になることが大切であることに気がつきました。



いまにし かなた
今西 奏大



学校法人池田学園 池田小学校 5年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・最近地球の気温がどんどん上昇していて、人間たちが行動を起こせば解決に近づくかもしれないということ。
- ・季節や気温によって動物の角や羽毛がはえかわったりするということ。
- ・気候が変われば、野鳥も鹿児島に来なくなってしまうかもしれないということ。
- ・サンゴ礁とアマモ場の場所のバランスが水温と密接に関わっていて、サンゴ礁とアマモ場に生息している生き物にも関係しているということ。

【未来への行動宣言】

- ・使わない部屋の電気は消すなど、省エネに取り組む。
- ・もっと動物園に行って動物について勉強する。
- ・機会があれば海に行って清掃活動をする。
- ・海水温と海の生き物の変化について研究する。

きたの ゆいか
北野 結華



始良市立 重富小学校 5年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・地球温暖化の仕組み、大変さを知った。
- ・動物たちは、気候や季節が変わるだけで、せいかくや体が変わることをはじめて知った。
- ・水温が変わるだけで生き物が死んでしまうこと。

【未来への行動宣言】

- ・二酸化炭素をなるべく出さないように、電気の節約をしたい。
- ・空をながめたり、動物たちをかんさつしていきたい。
- ・生き物をなるべく大切に思い、大切にしていきたい。

かまだ こうだい
鎌田 航大



国立大学法人
鹿児島大学教育学部附属小学校 5年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・このままでは地球は熱々になってしまうということ。
- ・動物は季節や気温に対応するように工夫をしていること。
- ・気温が上昇することによって、今まで違う場所で見られていた野鳥が鹿児島などにやってきたり、今まで見ることができた野鳥が見ることができなくなったりしてしまうこと。また、鳥の住処を自分たちの都合で勝手になくしてしまうことがあること。
- ・水温の上昇によって住めなくなってしまう海の生き物が出てくるということ。

【未来への行動宣言】

- ・現状とこのままではどうなるのかをたくさんの人に伝える。
- ・森に落ちているゴミを拾ったり植物を守ったりして、住処を守りたい。
- ・野鳥の魅力を伝えたり、ここを野鳥の住処だと知らない人に伝えて住処を守ったりしていきたい。
- ・節電節水を心掛けたり、海のごみを拾ったりと海の環境を守りたい。

こたに あかね
小谷 灯音



曾於市立 財部小学校 4年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・線じょうこう水帯と言う言葉が当たり前のように出てくる。あまり出てこないことばがあたりまえにつかわれている。
- ・地球温暖化が続くと季節に影響が出てきて春、夏、秋、冬の4つの季節があるけど、夏と冬の2つだけになるかもしれないってテレビでも言っていました。もし春と秋がなくなると動物にとっては、とても大変なことになります。鹿で考えると、春がなくなるとりっぱなつのがはえなくなってしまうそうです。
- ・鳥の賢さと天気と鳥のつながり。
- ・海と天気、生き物の関係。

【未来への行動宣言】

- ・地球温暖化がこの先も収まらなかったら30年後には、にんげんがすめなくなることになります。
- ・これからは地球温暖化が進まないようにちいさなことにもきづけるようになりたいです。
- ・鳥のことも人間のことも考えて行動したい。
- ・いろいろなものに興味を持って変化にきづけるようになりたい。

こやかしろ えん
小八ヶ代 縁

曾於市立 財部小学校 6年生



【学んだこと・気づいたこと】

- ・地球温暖化について考えることはあったが、鹿児島もどんどん暑くなっていることに気づいてなかった。鹿児島の生き物のために、これ以上、気温が上がらないよう何をすべきか考えなければいけないと思った。
- ・生き物は季節によって姿が変わることに驚いた。今まで動物園で生き物を見ることはあったけど、ただ見るだけで変化に気づいてなかった。生き物の変化には、空の気温が大切だということを学べた。これからは、暑い時期、寒い時期の動物の姿がどう変化しているのか観察してみたい。
- ・魚の住める水温がだいたい15° から25° くらいまでと決まっていることを学んだ。そして台風が水温の上昇を防ぐ役割があることを初めて知った。僕は台風があまり好きではないが、海の生き物たちは、台風が来ると喜びのかなと思った。

【未来への行動宣言】

- ・地球温暖化についてもっと知る。そして、自然を大切に作る。
- ・生き物たちが住みやすい環境を整えてあげたい。何をすればいいのか、しっかり考えて行動にうつしたい。
- ・台風がきても、嫌がらない。台風にも意味があることを知ってもらおう。当たり前のようにゴミ拾い、節水、食べ物をムダにしない生活をしていきたい。

たむら まいこ
田村 舞衣子

始良市立 重富小学校 5年生



【学んだこと・気づいたこと】

- ・これまでと同じような生活を続けてしまったら二酸化炭素が増えてしまい、しょうらい地球に住めなくなってしまうことを知った。
- ・しかのつのは、春になると自然におちて、夏になると、つのが成長し、やわらかい皮につつまれ、寒くなると、角が完成して、泥浴びして、強さをアピールしていることを知った。
- ・海の生き物もそれぞれにあった水温がとても大切なことを知った。

【未来への行動宣言】

- ・二酸化炭素を増やさないために、むだに電気を使わないようにする。
- ・季節が変わるにつれて、動物たちに変化があるのでみつけてみたいです。
- ・テレビのニュースや気象情報を見て、気候の変化に気づいていきたいです。

すぎやま みこ
杉山 咲心

鹿児島市立 坂元台小学校 5年生



【学んだこと・気づいたこと】

- ・地球に住む私たちにとって大気がとても大切だということ。
- ・昼の長さによって動物たちが変化すること。
- ・カモのえさの食べ方がそれぞれ違うこと。

【未来への行動宣言】

- ・環境を守るために「電気のおだ使いを減らす」や「ゴミをあまり出さない」ことに気をつけてすごす。
- ・時間帯を変えて鳥の観察をしたい。

つだ ののか
津田 ののか

始良市立 重富小学校 5年生



【学んだこと・気づいたこと】

- ・気候や地球温暖化によって生き物が生きることができなくなることを知った。
- ・夏と冬で毛が生えかわっている動物がいることを初めて知った。
- ・クロツラヘラサギという鳥やヘラサギなどが鹿児島に来るということを、初めて知った。

【未来への行動宣言】

- ・できるだけゴミを出さずに、二酸化炭素を出さないように生活する。
- ・いろいろな動物の生えかわりの前と後など調べて、比べてみたい。
- ・ほかにはどんな鳥が鹿児島に来るのか調べてみたい。

とみた はると
富田 陽仁

鹿児島市立 吉野小学校 5年生



[学んだこと・気づいたこと]

- ・今の人たちが地球温暖化にたいさくをせず、100年がたったら人間が住めなくなる。自然を増やしていけば、温暖化をあるていどおさえることができ、動物たちも、生活できること。
- ・野鳥には、色々な種類があったこと。
- ・定められた温度じゃないと、海の生物が弱ったり、死んでしまうこと。海の生き物にもかぎられたはんい内では生活ができないこと。

[未来への行動宣言]

- ・なるべく二酸化炭素をふやさないように、節電や空気をよごさないようにすること。
- ・野鳥たちのい場所をたくさん増やしていくこと。
- ・海の生物のくらすはんいを増やすために、海をよごさないように、海にゴミをすてないこと。

はまだ こうよう
濱田 広葉

鹿児島市立 吉野東小学校 4年生



[学んだこと・気づいたこと]

- ・地球温暖化が大変だということは知っていたけれど、何がつながってそうになっているのかを学ぶことができて勉強になりました。地球環境の変化によって、身近にいる生き物が絶滅するかもしれないということに驚きました。
- ・鳥を観察するときに、講座で習ったことを思い出したいと思います。観察会に参加して、こんなに身近な場所に絶滅危惧種の鳥がいることに驚きました。
- ・人は体温を周囲の環境に関係なく、一定に保つことができるが、魚はできないことに驚きました。魚やサンゴは地球環境の変化を教えてくれる存在だと思います。

[未来への行動宣言]

- ・地球環境の変化が生き物に影響を与えることを、いろんな人に伝えていきたいです。また、環境を守るため、電気やガスの無駄使いをなくし、持ち物を大切に使い、ごみを減らしたり、分別したりすることをやってみたいと思います。
- ・野鳥たちが気軽に鹿児島に来てもらえて、安心して食べ物を食べることができる環境を守っていきたいです。
- ・鹿児島に暮らす魚について、そこに暮らす訳を調べて、いろいろな人に伝えていきたいです。

なかむら まな
中村 茉菜

鹿児島市立 大龍小学校 4年生



[学んだこと・気づいたこと]

- ・二酸化炭素が地球を熱くしていること。
- ・太陽の出ている長さで、動物の行動が変わること。
- ・野鳥たちが来るすみかは、大切にしないといけないこと。
- ・魚は体温を保てないから、すみかの温度が変わると耐えられなくて生きられないこと。

[未来への行動宣言]

- ・友達に、もしかしたら、暑くて未来の地球にいらなくなるかもしれないことを伝える。
- ・動物園に行ったら、冬の熊の見た目と様子を比べる。
- ・物の無駄使いをしない。
- ・海のごみを見かけたら、拾う。

はまもと やえ
浜本 八重

始良市立 始良小学校 5年生



[学んだこと・気づいたこと]

- ・地球の気候が悪くなるとめぐりめぐって、原因の人間に危害があるということ。
- ・動物は季節によって、自分にあった変化をしていること。
- ・自分(野鳥)たちが生きるために日本や海外にわたっているのに、だんだん人間の手によって、わたってくる所が減っていること。
- ・鹿児島の海でも、場所によって水温がちがうこと。

[未来への行動宣言]

- ・自分ができる「節電」や「節水」などの小さな一歩を続ける。
- ・動物たちをいつまでも見続けるために、生息するかんきょうをできる限り守る。
- ・自分たちのことだけでなく、その場所を必要としてくれる鳥たちのことも考えて、わたってきてくれる場所を大切にする。
- ・海で遊んだり、楽しむことで海を見て、その楽しい海を大切にしたい。

ひだか あさひ
日高 朝陽



鹿児島市立 西陵小学校 4年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・2100年後の地球のシミュレーターを見て、何もしない未来と今できることをする未来とでは大きく違いが出るのが分かった。
- ・動物の見た目が変わる理由が、昼間の長さが関係していることが分かった。
- ・海では30℃以上が高水温となり、35℃では命が危なくなる温度だということが分かった。

【未来への行動宣言】

- ・日頃から天気や生き物の変化に気づける人になる。
- ・電気、水道のムダ使いをなくす。

ふくもと りん
福本 りん



始良市立 始良小学校 5年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・生き物達が変わったりしているのは、気候が関係しているのと、私達にもその原因が関わっている事。
- ・海の生き物達は、自分にあった場所に合わせて暮らしている事。
- ・海の温度などには、台風も関係している。

【未来への行動宣言】

- ・少しでも環境が守れるように、自分達の生活だけでなく海や空などにも着目して、行動する。
- ・海や空などの自然が少しでも良くなるように環境に良い行動を沢山する。

ふくもと かいり
福本 海里



始良市立 重富中学校 1年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・気候が変化すると、生き物の住む場所に影響をもたらすと知った。
- ・台風が来ることで、海の水がかき混ぜられて水温を下げてくれることを知り、驚いた。空と海は深く関わり、空の気候が変化すると海の世界も変化する事が分かった。
- ・海水温が変化する事で、本来は捕れないはずの時期に魚が沢山捕れたりして、魚や海の生き物に異変が起きると分かった。

【未来への行動宣言】

- ・海に実際に行って生き物観察をして、海について学びたい。
- ・砂浜などにごみが落ちていたら、しっかり拾って浜を綺麗にしたい。

まきのせ あまね
牧之瀬 天音



鹿児島市立 伊敷台小学校 4年生

【学んだこと・気づいたこと】

- ・ペンギンが、いろいろなすがたをしているところ。
- ・カモの種類が様ざまなこと。
- ・各場所によって、水の温度がちがうこと。

【未来への行動宣言】

- ・動物園に行って、いろいろな動物のすがたを発見したい。
- ・時々野鳥のかんさつをする。
- ・海で遊び、いろいろなことを発見したいと思う。

やました ゆうと
山下 雄翔

**鹿児島県立
鹿児島南特別支援学校 中学部 3年生**



[学んだこと・気づいたこと]

- ・異常高温や大雨、干ばつの増加など様々な気候の変化により生き物の生態が崩れて動物の個体数の変化により生物多様性への影響が繋がっている。
- ・海水面の上昇、熱帯低気圧の強大化、高潮の頻発化などによる沿岸生態系に影響し、気候変動によりサンゴ礁など近年、海水温の上昇等による大規模な白化現象が日本だけでなく世界の海で頻繁に発生し、魚の生態や今まで獲れていた魚の量や種類など様々な問題が起きている。

[未来への行動宣言]

- ・自然や生き物に感謝する。
- ・日々の暮らしの中で省エネを始め、小さなSDGsを1人でも心掛ける事で大きなSDGsに繋がると思います。
- ・海を守る事で私たちの生活の食料や医薬品、バイオ燃料などの製品の重要な天然資源を提供してくれます。廃棄物や汚染物質の分解と排除に役立ち、沿岸生態系は暴風雨の被害を軽減する緩衝としての役割を果たしてくれ、我々の自然災害へも繋がるとまで言われているので、ゴミの分別、SDGs、1人1人、1つ1つの行動をする事が大事だと改めて思いました。

わたなべ ゆづる
渡辺 幸弦

**国立大学法人
鹿児島大学教育学部 附属中学校 1年生**

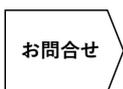


[学んだこと・気づいたこと]

- ・最近、自分が思っていたよりも地球温暖化が進んでおり、気候変動が進んでいると分かった。
- ・クジャクを見たときに、年によってパターンが4つ違うと分かって(季節で)2パターンじゃなくて、季節によって変わるんだなと思った。
- ・身の回りにいる鳥(町中の)は、カラスやスズメ、ハトぐらいだと思っていたが、よく見ると多くの種類がいるんだと思った。
- ・場所によって、水温が違ったり、季節によっての温度差があることが分かった。

[未来への行動宣言]

- ・地球温暖化を止めるために、節電や節水などに気を付け、人にもそれを呼びかけたいです。
- ・動物は季節によって、体が変わると分かったので、身の回りの動物なども観察したい。
- ・鹿児島には、色々な鳥がいて、沼地などがなくなったら、鳥の居場所もなくなるので、鳥が住むところをつぶさないようにしたい。
- ・海の生き物を守るために、海にゴミを捨てたりしないで、浜で、ゴミ拾いをしたいです。



かごしま環境未来館

Kagoshima Museum of Environment: Planet Earth and its Future

☎099-806-6666

鹿児島市城西2丁目1番5号